

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エネルギー環境課
 担当名: 住宅等省エネルギー推進担当
 内線: 3069 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P6	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	地球温暖化対策推進費		
事業期間	令和7年度～ 令和9年度	根拠 法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、さいたま環境創造基金 条例			針路 分野施策	10 1006	豊かな自然と共生する社会の実現 地球環境に優しい社会づくり	SDGsゴール SDGsターゲット	11, 13 11-b, 13-3
1 事業概要	埼玉県内の発信力、訴求力のあるプロ・トップスポーツチームに協力要請し、県民の行動変容を促進、行動変容を見える化するための取組を行い、2030年度の温室効果ガス排出量2013年度比46%削減を目指す。 スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業 △2,666千円			5 事業説明 (1) 事業内容 スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業 6,150千円→3,484千円 (2) 事業計画 令和7年度 各チームの主催する1試合以上で発信することで、6万人の行動変容 令和8年度 各チームの主催する5試合程度で発信することで、30万人の行動変容 令和9年度 各チームの主催する全試合で発信することで、250万人の行動変容 (3) 事業効果 県と連携するプロ・トップスポーツチームが主催する1試合以上で県民の行動変容を促進する取組を実施し、家庭に由来するCO2排出量の削減を推進する。 【活動指標(アウトプット)】選手・スタッフを対象とした講座の実施(15回)、チームの行動による県民への発信(15チーム)、CO2削減量を把握できるツールの普及 【成果指標(アウトカム)】観客6万人の行動変容を促進 (4) 補正予算の概要 ア 行動変容を促す普及・啓発、成果把握手法の見直しによる減額 △2,534千円 イ 経費節減による減額 △132千円						
2 事業主体及び負担区分	【環境省】 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金 (国1/3・県2/3)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	(1) 人件費(既存分) 9,500千円×2.0人=19,000千円 (2) 人件費(増員分) 9,500千円×2.0人=19,000千円 (3) 組織の新規・改廃 なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		国庫支出金	寄附金	繰入金						
決定額	△2,666	△1,534		△1,132				0	3,484	
現計額	6,150	1,534	3,066	1,550				0		

事業内訳書

事業名	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業		
単位事業名	スポーツチームと連携した脱炭素アクション推進事業	予算額	△ 2,666千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	△1,534	—	【環境省】 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 補助率 1/3
繰入金・ さいたま環境創造基金繰入金	△1,132	—	
合計	△2,666	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△132	—	経費節減による消耗品費の減
委託料	△2,534	—	県民の行動変容を促す普及・啓発、成果把握手法の見直し による減
合計	△2,666	—	